

一級自動車工学科・自動車整備科		2023年度		授業計画		
時期	1年B巡	単元	実習	教科名	M/T分解組立	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	三級自動車シャシ		発行日	2023年4月1日
総時限	16時限				教科担当	横山 ●■ 加藤 ●■
1. 指導教員の実務経験						
販売会社にて、MTのクラッチ交換作業に従事した事のある教員により、クラッチの基本構造、作動、トランスミッションの基本構造、作動、動力伝達について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
<ul style="list-style-type: none"> ・クラッチの基本構造を理解する。（コイル式及びダイヤフラム式） ・トランスミッションを分解組立することで基本構造を理解し、作動原理を学習する。 ・クラッチオーバーホール作業の実践を身に着ける。 						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
<ol style="list-style-type: none"> 1.クラッチや、トランスミッションの部品を見て名称を理解する。 2.作業に適した工具を選択出来る。 3.工具の正しい取扱い、作業姿勢が出来る。 4.トランスミッション（クラッチを含む）分組のポイントを理解する。 5.プル式クラッチの構造と整備方法を理解する。 6.クラッチリリースベアリングの交換作業方法の習得。 						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
<ul style="list-style-type: none"> ・実習履修試験での得点評価 ※本実習は技能要件項目に該当し80点以上で認定となる。 整備科60点以上で合格 工学科70点以上で合格 80点以上：「優」 60点以上（工学科は70点以上）：「良」 60点未満（工学科は70点未満）：「未」 再試験合格の場合得点に関わらず：「可」 再試験不合格の場合、学校長の権限により判定試験を実施し、合格の場合「可」 <p>《出題試験項目》</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 実技：コイル・スプリング式クラッチの組立実技試験及びクラッチの名称試験 ※部品が揃い次第、「プル式クラッチの分解作業」も併せて実施する。 ② 筆記：構造、作動の習熟度を確認するための筆記試験 						
5. 準備学習						
<ul style="list-style-type: none"> ・学科シャシ構造 1Aで学んだクラッチ、トランスミッションに関する内容を復習しておく。 ・学科で学んだ部品名称を事前に見直しておく。 						

※ ● ⇒ 実務経験がある教員

※ ■ ⇒ 日産資格保持者

